



#### 未来設計イニシアティブの目標

地球環境問題に関する統合知 (consilience) を介して総合地球環境学を構築することが地球研の大きな使命です。2010年度から始まった第II期中期目標・中期計画では、領域プログラム(循環・多様性・資源・文明環境史・地球地域学)と未来設計イニシアティブを連動させることで地球環境問題の本質を明らかにし、新しいパラダイムによる未来社会のデザインをめざすプロジェクトを立ち上げていきます。

未来設計イニシアティブは、認識科学的アプローチを横断的に統合する設計科学的アプローチを重視します。人間と自然系の相互作用の多種多様な形態を把握したうえで、未来可能な社会制度を設計します。とくに、世界各国で目標に掲げられている未来設計のシナリオ(循環型社会、低炭素型社会、共生型社会など)を検証し、社会のあるべき姿について提言します。

現在、3つのイニシアティブ—〈風水土〉〈山野河海〉〈生存知〉が連携し、設計科学を実践しています。

#### Foci

未来可能性 地球システム 設計科学 統合知  
トランスディシプリナリティ

#### イベント情報

##### 市民フォーラム

■ 2010年5月(兵庫県淡路市)  
環境フォーラム in 淡路島:生物多様性と生態系サービス

■ 2010年8月(京都市)  
未来への提言:石油高騰時代の暮らし

■ 2010年9月(愛媛県西条市)  
未来につなぐ地下水の科学

■ 2010年12月(石川県金沢市)  
森林をめぐる伝統知と文化に関する国際会議—里山と多様性

■ 2011年3月(京都市)  
もうひとつの生物多様性—食と農の遺伝的多様性

■ 2011年5月(宮崎県綾町)  
国際照葉樹林サミット—生物文化多様性と生態系サービスを活かす

■ 2011年6月(京都市)  
変化する世界のなかで社会・生態的なレジリエンスを構築する

■ 2011年9月(京都市)  
生態系サービスの持続的利用と伝統知

##### 学術集会

■ 2010年6月(カナダ, モントリオール)  
発展のための生物文化多様性に関する国際会議

■ 2010年7月(東京都渋谷区)  
里山・里地・里海の価値とその管理:新たなコモンズ論の展開に向けて

■ 2010年10月(名古屋市)  
COP10 サテライト集会「生物文化多様性に関して」

■ 2010年11月(京都市)  
気候変動に備えるための鍵—地下水

■ 2011年5月(千葉市)  
地球惑星連合同大会におけるブース展示

■ 2011年8月(スウェーデン, ストックホルム)  
都市サービスによるヒューマンセキュリティーへの影響

■ 2011年9月(京都市)  
持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議・サイドイベント

##### 社会と学問の連携協議

■ 2011年11月(タイ, バンコク)  
地球環境コンソーシアム形成会議

#### 組織 (研究推進戦略センター 基幹研究ハブ)

教授	佐藤洋一郎	特任准教授	久米 崇
	谷口真人		鞍田 崇
	湯本貴和 (主査)		半藤逸樹

#### 連絡先

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457-4  
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
総合地球環境学研究所 未来設計イニシアティブ  
TEL 075-707-2504 (代表)  
E-mail: futurability@chikyu.ac.jp



総合地球環境学研究所

# 未来設計 イニシアティブ

## The Futurability Initiatives

GAIA  
OIKOS  
ETHOS

# 風水土イニシアティブ

**GAIA Initiative:**  
Anthropospheric design  
within dynamic Earth environments

自然と社会がグローバルに変動するなかでの未来設計には、人間と自然のバランスが適切に機能する社会を構想することが重要です。

風水土イニシアティブでは、物質圏を人間の生存と社会文化の存在基盤ととらえ、過去・現在・未来を往還し、地域と地球の統合理解のもとで、地球環境の変化に柔軟に対応する人間圏を設計します。また、自然の恩恵の増大と災害被害の軽減をバランスさせるための地域の環境基準と許容限界を策定し、科学技術を生かした未来可能性を考究します。

宇宙から望む地球。大気・水・土は  
生命と社会文化の存在基盤



Foci

物質圏  
環境動態  
境界・限界  
自然災害

トルコ共和国のアンカラでの、大地の色と調和した町並み(局所的な人間圏の設計)の一形態(撮影・松永光平)

# GAIA

# 山野河海イニシアティブ

**OIKOS Initiative:**  
Linking commons and community for  
long-term maintenance of ecosystem services

人類は数千年にわたって、自然の恵み、すなわち生態系サービスを、環境容量や自然復元力を超えて過剰に利用してきました。

山野河海イニシアティブでは、生物圏から提供される生態系サービスと、生態系を持続的に利用してきた技術・知恵・文化の統合理解のもと、環境負荷が低く豊かな生活を実現するのに必要なしくみを提言します。とくに、環境経済に係る格差問題を解決するために、生態系から得られる利益を適切に享受し、未来に向けて公平に分配する方法を探求します。



インド共和国アッサム州での洪水の後の水田漁撈。モンスーンの洪水がもたらした水で水田を耕し始めるとき、集団で漁撈もする(撮影・小坂康之)

大分県由布岳の野焼き。草原の生態系サービスを維持するために早春に火入れをおこなう(撮影・湯本貴和)



Foci

生物圏  
環境経済  
生態系サービス  
コモンズ

# OIKOS

# 生存知イニシアティブ

**ETHOS Initiative:**  
Enhancing human capability and  
capacity for coexistence

地球環境問題の根本は、人口と生産を急激に伸ばしてきた人間活動、さらにはそれを促してきた精神圏の価値観にあります。

生存知イニシアティブでは、食と健康を希求してきた人間活動と環境の関係の統合理解に基づき、多様な文化や環境のもとでの人間のよりよい生き方を提言します。具体的には、国家、地域、個人のレベルにおける生産のありかた、食料消費や医療をめぐる倫理などの問題について、求められる制度の設計をおこないます。

ラオス中南部ラハナム村での訪問診療風景。医師が無料診療に来たので多くの村人が参加している(撮影・門司和彦)



ロシア連邦サハ共和国・アラゼヤ川流域での干魚づくり。川でとれたばかりのサケに切れ目を入れ、干していく。新鮮な卵はその日の昼ごはんになる(撮影・藤原潤子)



Foci

精神圏  
ライフスタイル  
食 生産  
健康と医療

# ETHOS